

響和会会報

# 楽藝高 Acanthus

2013年春 第11号

編集・発行 東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校 響和会  
〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8  
TEL. 050-5525-2406 FAX. 050-5525-2530

“夢に向かって新たな一步”

## 第60回入学式



4月9日、新緑の鮮やかな中、男子14名女子25名の新入生を迎えて記念すべき第60回入学式が挙行されました。今年の上級生による奏楽は、澤和樹先生指揮のもとプロコフィエフの「古典交響曲第1楽章」が演奏されました。続く入学許可で名前を読み上げられ起立する姿からは、芸高生になった誇らしさと喜びが伝わってくるようでした。塚原康子校長が多様な能力を持つ人々と関わり、その中で自分の個性を見極

め磨き上げる事を切に願うと式辞を述べられ、宮田亮平学長からは、新入生の緊張を解きほぐす一言のあと、自分の力で勝ち得た幸せを次に返すために一年一年精進を重ねていって欲しいとの激励のお言葉をいただきました。終わりに「古典交響曲第4楽章」が演奏され、華やかな余韻のままに閉式となりました。



校長(日本音楽史) 塚原 康子

校長職兼務も三年目となりました。生徒や教職員の顔ぶれも年ごとに少しずつ入れ替わり、自分自身の芸高に対する見方や感じ方も変わってきていることを実感します。芸高が、昔も今も生徒一人一人にとってかけがえのない場であることはもちろんですが、本年は、来年の創立60周年を前に、芸高の存在意義をもう一度見つめ直し、大学内でも社会の中でも、芸高が共感され支持される存在であるために今何が一番必要であるのかを、真剣に探るべき時期でもあると思います。

響和会のみなさまには、芸高の新たな充実に向けた歩みに、ひきつづき温かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副校長(国語) 鈴木 芳明

昨年度は、芸高の様々な点において見直しを行い改革をして参りました。芸高は、今話題の高大連携を先駆的に実施して来た素晴らしい学校ですが、その教育に更に磨きをかけ、名実共に世界の芸高となるためには、大学・響和会・同窓会・響親会といった芸高に関わるすべての方々の叡知と力を結集する必要があります。来年に行われる60周年をきっかけとして、新たな芸高がスタートするために、今年も全力を注ぎたいと思っております。



響和会会長 大鳥居 清彦

イソップ物語に「アリとキリギリス」があります。音楽家を目指す芸高生は、キリギリスかも知れません。しかし芸高では音楽ばかりでなく、一般高校生としての学業も求められます。試練の三年間です。芸高生の持つ音楽の才能は、本人の財産であると共に、世の中の人々に音楽の素晴らしさを伝えるための財産でもあります。音楽家への夢と希望を抱く、若きキリギリスたちを皆様ご声援ください。

# 教職員紹介



**高橋 裕先生**  
音楽理論、演奏法、ソルフェージュ  
無限の広がりをもつこの素晴らしい音楽を共に学べることは、至福の喜びです。のびやかなスケール大きな音楽家を目指してください。



**沼田 宏行先生**  
ピアノ、ピアノ初見アンサンブル、ソルフェージュ  
不思議なことはいっぱい起こります。ひとつひとつのラッキーを存分に活かしてみましょ！良いことがありますように！



**小林 真先生**  
地理歴史、公民  
今年度は2学年の担任をします。演奏修学旅行など、いろいろな行事が楽しみです。芸高生のみなさんは、一日一、一時間一時間を大切に、実りある3年間を送って欲しいと思います。



**安富 洋先生**  
管弦楽(弦)、ソルフェージュ  
1年生の皆さんは学校に慣れてきましたでしょうか。どうぞ身体を大切に、自分の信じる道を進んでください。私もお手伝いさせていただきます。



**上野 善弘先生**  
保健体育  
バランスのとれた食事・十分な睡眠・適度な運動で健康第一に考えた生活習慣を身につけよう。慌てず、焦らず、明るい笑顔で一步一步前を向いて進んでいこう。自分のための高校生活を築いていこう。



**大平 記子先生**  
フルート、管弦楽(管)、ソルフェージュ  
趣味:登山、自転車、料理、読書。なかなか時間はありませんが息抜きの時間を大切にしています。



**伊藤 雄二先生**  
英語  
最近、若者の海外離れが囁かれています。芸高の皆さんには、ぜひ海外に興味を持ってもらいたい。その入口のお手伝いをさせていただきます。



**塚田 花恵先生**  
音楽史、ソルフェージュ  
芸高の教員になって2年目になりました。みなさんには、幅広い知識を身につけてほしいと思っています。今年度も一緒に楽しく勉強しましょう！

今年度、3人の新しい先生方を  
お迎えしました♪



**新船 孝先生**  
国語  
芸高の恵まれた環境を活かし、自分の持てる力を最大限に発揮し、友人たちを尊敬し、その友人たちと共に成長する。才能を大いに開花させ、個性を伸ばし、世界をリードしていく人材になることを期待しています。



**千谷 恵里花先生**  
養護教諭  
夢に向かって歩み続けることができるよう、心身の健康面は私が全力でサポートします！どんな些細な体調不良・悩みでも相談して下さい。嬉しかったことや感動したことも聞かせて下さい。皆さんと一緒に芸高の歴史を創っていきたいです。



**塩見 かおりさん**  
図書室司書  
この4月から図書室にきました塩見かおりです。緑豊かな素晴らしい環境の中、生徒と過ごせることを楽しみにしています。生徒のみなさんや保護者の皆さまにとって使いやすく、落ち着ける環境づくりを心掛けていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願致します。

事務室：山田通子さん、滝沢未来さん

事務室長(兼務)：増田威久芸大音楽学部事務長

## 平成25年度時間割

	1	2	3	4	5	6	7
	8:30~9:20	9:30~10:20	10:30~11:20	11:30~12:20	13:00~13:50	14:00~14:50	15:00~15:50
月	1年 国語総合	音楽史	英語表現 I	世界史 A	SH		
	2年 日本史 B	OC I	音楽理論	英語 II	SH		
火	3年 演奏法	リーディング	ライティング	古典	SH		
	1年 数学	英語 I	演奏法	英語表現 I	国語総合	科学と人間生活	SH
	2年 現代文	古典	英語 II	家庭	生物基礎	音楽史	SH
	3年 現代文	体育	古典	音楽史	家庭	音楽理論	SH
水	1年 英語 I	体育	聴音	科学と人間生活	音楽理論	重奏・重唱(楽典)	
	2年 体育	聴音	日本史 B	保健	生物基礎	ピアノ初見・アンサンブル	
	3年 情報	情報	リーディング	聴音	現代社会	オーケストラ	
木	1年 国語総合	英語 I	数学 I	体育	保健	合唱	
	2年 現代文	体育	英語 II	数学 I	日本史 B	オーケストラ	
	3年 体育	ライティング	現代社会	現代文	リーディング	合唱	
金	1年 国語総合	世界史 A			HR	総合学習	
	2年 英語 II	古典	ソルフェージュ		HR	総合学習	
	3年 体育	ライティング			HR	総合学習	

## 平成24年度卒業生進路

卒業生数	41名
芸大進学者数	37名
作曲	2
ピアノ	11
弦楽器	16
管打楽器	3
邦楽	5
受験準備	4名

## 平成25年度 楽器別内訳

楽器	1年	2年	3年	合計	楽器	1年	2年	3年	合計
作曲	0	1	2	3	オーボエ	1	0	1	2
ピアノ	14	13	11	38	クラリネット	1	2	2	5
ヴァイオリン	11	11	11	33	ファゴット	1	0	0	1
ヴィオラ	2	3	2	7	トランペット	0	1	0	1
チェロ	4	3	3	10	箏曲	0	0	1	1
コントラバス	0	3	2	5	尺八	2	1	0	3
ハープ	0	0	2	2	長唄三味線	0	2	1	3
フルート	3	1	2	6	邦楽囃子	0	0	2	2
合計					合計	39	41	42	122

(休学中の生徒2名を含む)

## 平成25年度 出身県内訳

出身県	1年	2年	3年	合計
北海道			3	3
宮城	1			1
山形			1	1
福島	2	2		4
茨城	2	1		3
栃木			1	1
群馬			1	1
埼玉	3	3	2	8
千葉	2	5	5	12
東京	13	8	14	35
神奈川	5	8	4	17
富山		2		2
石川	1		1	2
福井	1			1
長野	1			1
岐阜		1	1	2
愛知	4	2	2	8
三重		1		1
滋賀	1	1		2
大阪		1	1	2
兵庫		2	1	3
奈良			1	1
島根	1		1	2
広島	1			1
香川		1		1
愛媛			1	1
福岡	1	2	1	4
宮崎		1		1
鹿児島			1	1
学年計	39	41	42	122

(休学中の生徒2名を含む)

(楽器別内訳、出身県内訳については平成25年4月現在)

芸高のホームページがリニューアルオープンしました。

URL : <http://geiko.geidai.ac.jp/>

# 平成25年度演奏行事予定

## 5 アカサス・コンサート May

(17日 13:00 芸高201ホール)

## 6 3年生公開実技試験 June

(23日 10:00 ピアノ 奏楽堂)

3年生公開実技試験

(26日 13:30 管打楽器・14:40 邦楽 芸高201ホール)

3年生公開実技試験

(28日 9:30 弦楽器・16:00 作曲 奏楽堂)

## 7 アカサス・コンサート July

(5日 13:00 芸高201ホール)

北とびあ・輝く☆未来の星アカサスコンサート (室内楽)※

(12日 16:00 北とびあ つつじホール)

## 9 2年演奏修学旅行事前演奏会 September

(27日 13:00 芸高201ホール)

2年演奏修学旅行 (北海道)

(29日~10月2日)

交流演奏会

札幌大谷高等学校音楽科・北星学園女子高等学校音楽科・  
東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校

(30日 16:30 予定 札幌大谷大学)

## 10 北とびあ・輝く☆未来の星コンサート(オーケストラ・合唱)※ October

(14日 14:00 予定 北とびあ さくらホール)

第25回定期演奏会

(19日 14:30 奏楽堂)

## 11 アカサス・コンサート November

(8日 13:00 芸高201ホール)

北とびあ・輝く☆未来の星アカサスコンサート (室内楽)※

(18日 16:00 滝野川会館大ホール)

## 12 文楽鑑賞教室 December

(10日 11:00 国立劇場)

アカサス・コンサート

(20日 13:00 芸高201ホール)

※(財)東京都北区文化振興財団主催



演奏修学旅行 (広島)



休み時間



演奏修学旅行 (広島)



放課後



公開講座 (中国楽器)



公開講座 (野口体操)



スキー合宿



新入生歓迎会



アカサス・コンサート



公開レッスン



輝く☆未来の星ジョイントコンサート



演奏修学旅行交流演奏会

## 平成25年度 (第25回) 定期演奏会



昨年の定期演奏会

- 会場：東京藝術大学奏楽堂
- 開演：10月19日 (土) 14:30 (開場13:45)
- 演奏：東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校生徒
- 指揮：尾高忠明 (東京藝術大学教授)
- 無料 ロビーコンサート (14:00)
- 在校生は整理券、一般の方は往復はがきによる申し込み
- 芸高 050-5525-2406

### 【演奏曲目】

- ◎宮城道雄作曲 「春の海」 生田流箏曲 (箏、尺八)
- ◎吉沢検校作曲 「千鳥の曲」 (尺八、箏)
- ◎幸堂得知作詞 吉住小三郎/杵屋六四郎作曲 「神田祭」 (長唄、長唄三味線、邦楽囃子)
- ◎ベートーヴェン 交響曲第2番 二長調 作品36
- ◎モーツァルト 戴冠式ミサ ハ長調 KV317(抜粋)

おたか ただあき  
**尾高 忠明先生**

*Profile*

1947年生まれ。国内主要オーケストラへの定期的な客演に加え、ロンドン響、ロンドン・フィル、BBC響、パーミンガム市響、ベルリン放送響、フランクフルト放送響等へ客演している。  
第23回サントリー音楽賞受賞。1993年ウェールズ音楽演劇大学より名誉会員の称号を、ウェールズ大学より名誉博士号を、1997年英国エリザベス女王より大英勲章CBEを授与された。さらに1999年には英国エルガー協会より日本人初のエルガー・メダルを授与されている。2012年有馬賞 (NHK交響楽団) 受賞。  
現在NHK交響楽団正指揮者、新国立劇場オペラ芸術監督、札幌交響楽団音楽監督、BBCウェールズ交響楽団 (現BBCウェールズ・ナショナル管弦楽団) 桂冠指揮者、東京フィルハーモニー交響楽団桂冠指揮者、読売日本交響楽団名誉客演指揮者、紀尾井シンフォニエッタ東京桂冠名誉指揮者を務めるほか、東京藝術大学音楽学部指揮科主任教授、相愛大学音楽学部客員教授として後進の指導に当たっている。



今回は、ドイツでご活躍後、日本でも多彩な活動をされているチェリストの渡邊辰紀さんにお話を伺いました。

# わたなべ たつき チェリスト 渡邊 辰紀さん (昭和58年度卒業 27期生)



東京藝術大学卒業。学内において「安宅賞」受賞。第52回日本音楽コンクール入賞。東京文化会館新人推薦オーディション合格。1990年渡独。デトモルト音楽大学で研鑽を積み、同大学を首席で卒業。その間マールブルク室内合奏団や北西ドイツフィルハーモニー等との共演で反響を呼び、中でもドイツ国家演奏家試験のために同大学オーケストラと共演したフリードリヒ・グルダのチェロ協奏曲では最高点に加えて特別賞を与えられた。

ヒツァカ音楽祭でトビアス・PM・シュナイトのクラリネット、ピアノ、チェロのためのトリオ [Cascando II] を初演。[聴衆賞]を受賞。そのメンバーでTrio Cascandoを結成。コンサート活動をはじめ、バイエルン放送、ドイツ放送等のFMにも多数出演。また、内外のジャズフェスティバルで井野信義、高瀬アキ、山下洋輔、ニルス・ベデルセン等超一流ジャズミュージシャンたちと共演するなど、クラシックだけにとどまらない幅広く多彩な演奏活動は高く評価されている。

北西ドイツフィルハーモニーのソロチェリストを経て2006年8月東京フィルハーモニー交響楽団の首席チェリストに就任。CDに高瀬アキ、井野信義との共演 [CLOSE UP OF JAPAN]、トビアス・PM・シュナイト [Cascando II]、スーパーチェロアンサンブルトウキョウ等。

## ●芸高時代のことについて聞かせていただけますか。

学校から帰ると家で2時間くらい練習するというごく普通の生活をしていました。当時お茶の水にあった学校まで、家から歩いて10分くらいだったので、毎日朝の連続ドラマを5分だけ見てから学校へ行っていました。

一番の思い出は秋の祭典です。演劇などをするお楽しみデーみたいな日でした。1年生の時は「夕鶴」のつう役、2年生では「不思議の国のアリス」のアリス役をやり、3年生では「鄧小平」という名のバンドを組んでベースを演奏しました。

芸高は人数が少ないので男女揃ってみんな仲が良く、人間関係で困ったことがありません。それで音楽に集中することができ、僕にとっては周りが凄いなだけだったのだので、刺激を受けながら3年間を過ごしたということが大きいですね。

## ●芸大卒業後渡独し、その後16年に及ぶドイツ生活を体験なさっていますが。

子どもの頃から本当はフランスに留学したいと思ってアテネ・フランスに通ったりもしていました。ところがたまたま紹介して下さる方がいて、ドイツもいいかなと思い決めた訳です。言葉のことで苦勞しましたが、日本に帰ろうとは思いませんでした。

日本では楽譜を忠実に再生するというか音符を並べることを勉強していたように思いますが、ドイツでは本当に音楽を学んできた気がします。先生が問題にするところが、日本では上手に弾けているか弾けていないかだったりするのですが、ドイツで僕がよく言われたのは、「来ない!」。あなたの音楽は来ないということなんですね。でもたまたまどういう拍子か来る音楽ができた時は、「Danke schön!!」と立ち上がって喜んでくれました。大きな違いはそこですね。それから、1つ1つの音符がどうかじゃなくてフレーズで捉えるということです。それを習ってから日本へ帰ってきてオーディションなどを聴くと、本当にただ音符が並んでいるだけだなという印象を持つことがよくありますね。学んできて身につけようと思えることですが、その中には無我夢中でした。

僕が北西ドイツフィルハーモニーにいた時、常任指揮者が日本人の上岡敏之さんだったのですが、彼から学ぶことがとても多かった。色々な国の方と知り合えて色々な考え方を吸収できるところが留学のいいところだと思います。

## ●チェロの魅力はどこにありますか。

形、弾く格好、音域の広さ、色々なアンサンブルに対応できるところでしょうか。特に同じ楽器だけのアンサンブルではチェロに勝る楽器は他に無いでしょう。

## ●現在ジャンルを超えてご活躍ですが。

器用貧乏なんです(笑)。頼まれたらそこそこできちゃうところがあるからだと思います。音楽はどんなジャンルでも好きです。

ジャズを演奏することもあるのですが、その場合ジャズ奏者が僕のレベルに降りてきて何とかやっているようなものなので、そういう人たちと対等にできるようになれたらと思います。小曾根真さんとカプースチンの作品をやってみたいです。

## ●演奏家として活動していく上での心構えやアドバイスがありましたら教えてください。

どんな演奏をしてもお客さん全員を同じように喜ばせることはできないので、自分も納得しつつできる限りいいものを提供したいと思っています。

## ●趣味は何ですか。リフレッシュ法があれば教えてください。

趣味はこれとってないですね。仕事が忙しいので、休みになるとやっと練習できるという感じです。練習で疲れた時などにテレビを見たりするくらいですね。音楽漬けという聞こえがいいのですが、何にでも手を出しているみたいなところがあります。誘われて時間が空いたら深く考えずに入れちゃいますね。色々な音楽をやることでリフレッシュできているのかもしれないです。例えば、室内楽が続いて、久しぶりにオーケストラに来ると、いいなあ実感できたりします。

お酒は大好きで、ほぼ毎日飲んでます。

## ●好きな作曲家は。

バッハです。ゴールドベルク変奏曲が一番好きです。

## ●芸高生に向けてメッセージをお願いします。

芸高にいると音楽一辺倒に近くなってしまいますが、できるだけ色々なことに興味を持って取り入れていったほうが将来のためになると思います。と、僕も言われたのですけれど(笑)、そう思うようになるのはこの年になってからです。他の芸術を鑑賞したり本を読むことも大切だと思います。

2013年4月26日 東京オペラシティにて

## 初夏のテニス合宿

### 今年も敢行!

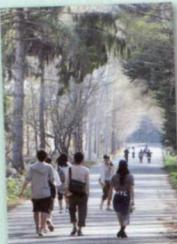
毎年恒例の校外合宿、通称「テニガ」。今年は7月ではなく、ゴールデンウィーク明け、5月8日～10日の2泊3日で長野県菅平にて行われました。「時に全く音楽から離れ、身体を目一杯使ってリフレッシュする事も良いのでは」という先生方のお気持ちと「泊りがけで集団生活を体験することで、生徒相互の理解や交流を深め、運動を通して心身の健全な発育を図る」という趣旨に沿って、一人の欠席者も出さずことなく1～3年生、縦割りでのテニス、クラス友人単位に分かれてのオリエンテーリング等、楽しく体験してきました。今回の合宿はお天気にも恵まれ、ほどよく日焼けして帰って来た子供達も多かったようです。



テニス練習



BBQ



オリエンテーリング



朝の散歩



## Topics

### 感想文コンクール で最優秀賞

- 芸高生は音楽以外の分野でも優秀な成績を残しています。
- 平成24年度 松本清張記念館中学生読書感想文コンクール 最優秀賞 2年 桑原 志織 「高校殺人事件」を読んで
  - 平成24年度 井上靖作品読書感想文コンクール 最優秀賞 1年 堀 真亜菜 「夏草冬濤」を読んで 優秀賞 1年 真下 航 「夏草冬濤」を読んで 佳作 1年 川地咲由里 「夏草冬濤」を読んで (受賞当時の学年) の皆さんが受賞しました。

### 編集後記

「藝高 Acanthus」第11号をお届けいたします。発行にあたり、先生方はじめご協力いただきました方々に深く感謝申し上げます。学校内における生徒たちの日々の姿を保護者の皆様へ、また、芸高生の音楽に対する真摯でひたむきな姿を世間の多くの皆様へ、紙面を通して少しでもお伝えできればと思っております。

- 会長：大鳥居清彦  
副会長：金谷 恵 浦畑 佳美  
広報委員：木本由美子 藤本 寛子 三宅 明子 川崎 程子 齋藤 美奈 高田 幸子 棚木 美樹 野口恵理子 山田 美香